

第3報

第31回 九州胃拡大内視鏡研究会 テーマ 「興味ある症例」



- 日時 2024年7月20日(土) 13:00-17:00
- 配信方式 WEB配信
- 申込方法 (詳細は裏面参照 ※右QRコードからでも可)
- 参加費 ￥2,000 (webお申込の場合、クレジット決済)

代表世話人メッセージ

福岡大学筑紫病院 八尾 建史

21世紀に入り、上部消化管拡大内視鏡が一般の臨床でも容易に応用できるようになりました。しかし、胃は食道や大腸と異なり、拡大内視鏡所見が大変複雑です。統一した用語に基づき討論する場が必要と思い本研究会を開催しました。本会は、VS classification systemに基づくMESDA-Gの診断体系と用語を用い、拡大内視鏡の診断を恒常的に行う先生の参加を原則としています。本主旨に賛同頂き、胃の拡大内視鏡に真摯な興味のある先生方に参加して頂きたく存じます。

今回はウェブ配信のみですが、鮮明な画像やリアルタイムにディスカッションできるようにプレパレートと顕微鏡画像投影システムも用意しています。演題については、大阪国際がんセンターから、胃NETの多数例について検討された拡大内視鏡所見（新知見）を報告頂きます。また、日常臨床で遭遇するGroup 2病変についての臨床的対応についても議論します。興味深い症例も用意しています。奮ってご参加下さい。

－プログラム－

1.【演題】

「異型度の異なる領域をNBI併用拡大観察で認識しえた早期胃癌の1例」

石川県立中央病院 消化器内科 山本 信

2.【演題】

「非典型的な組織構築を呈した胃底腺型腺癌の1例」

順天堂大学医学部 消化器内科 阿部 大樹

3.【よろづ相談】

「組織生検でGroup 2となる、診断が難しい症例についての対応についてご意見をお聞かせください」

嶋田病院 消化器内科 矢山 貴之

4.【演題】

「組織型の予測と深達度診断が困難であった組織混在型早期胃癌の1例」

高知赤十字病院 消化器内科 重久 友理子

5.【演題】

「胃神経内分泌腫瘍の一例」

大阪国際がんセンター 消化管内科 森田 宗新

6.【演題】

「PPI関連胃症を伴う背景粘膜に発生し、

多彩なNBI併用拡大内視鏡所見を示した胃上皮性腫瘍の一例」

福岡大学筑紫病院 消化器内科 京山 一樹

過去の開催の様様、抄録、演題スライドをホームページで公開しています

OLYMPUS

九州胃拡大内視鏡研究会

検索

<共催>九州胃拡大内視鏡研究会
オリンパスマーケティング株式会社

【第31回九州胃拡大内視鏡研究会 参加お申込み】

お申込み期間

2024年7月20日(土) 13時までにお問い合わせいたします。

参加申込方法

URLかQRコードいずれかの方法でお申込願います。

URL

QRコード

<https://www.olympus-medical.jp/events/kyushuikakudai2024720>



上記URLからサイトにアクセス

QRコードを読み取る

ご登録と参加費のお支払い

メールアドレスは正確にご入力ください。

参加お申込登録後、受付完了メールをお送りします。届かない場合は、受付エラーとなります。

JP-fukuoka-kikaku@olympus.comよりメールが配信されます。

※メールアドレスの誤入力、迷惑メール設定等により受信が確認できないケースが報告されておりますのでご注意ください。

二重登録にご注意ください。(二重登録を確認した際は事務局よりメールにてご一報申し上げます)

登録完了メール

7月14日(日)17時までにお申込みいただいた方

別途、【7月15日(月)までに】WEBご参加用URLをお送りします。

7月14日(日)17時以降にお申込みいただいた方

登録完了メールに記載されたWEBご参加用URLよりご入場ください。

講演中の録音・録画・撮影、参加費未払いの第三者による視聴は、固く禁止させていただいておりますので、ご承知おさください。

■お問い合わせ先

オリンパスマーケティング(株) 九州胃拡大内視鏡研究会事務局代行
九州エンドスコープ 担当：斎田・小澤・梶川

✉ JP-fukuoka-kikaku@olympus.com